

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立大庭小学校）

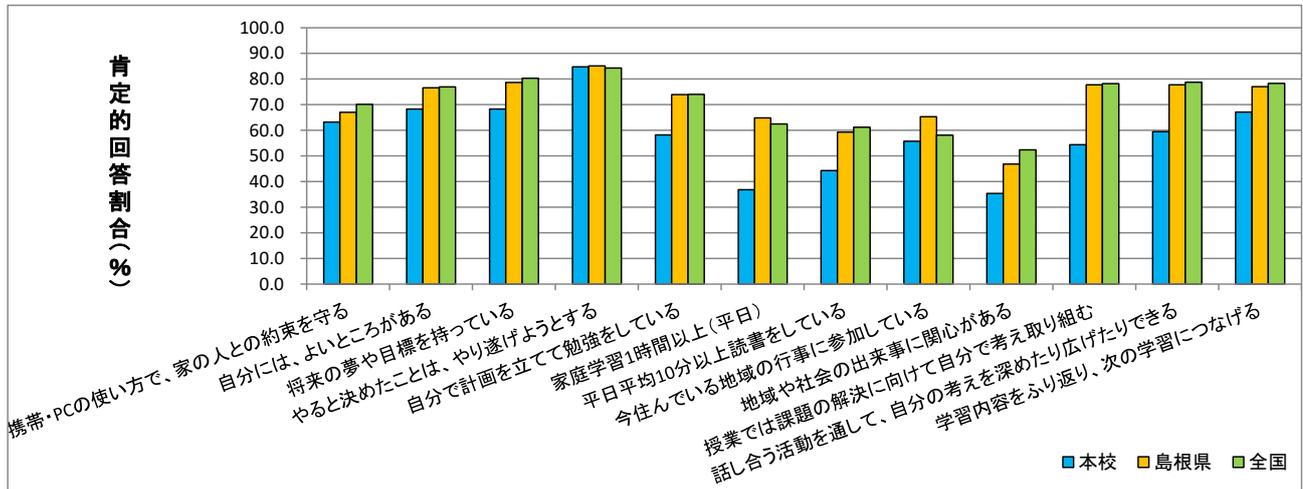
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
国語	○言葉の特徴や使い方に関する事項が他の内容に比べて正答率が高い(全国や県との平均の差が小さい)。 ○選択式の問題が、他の問題と比べ、若干正答率が高い。 ●説明文を読み取って、自分の考えやまとめを書く問題での正答率が低い。	・単元の中で計画的に自分の考えを書いたり、対話したりする場面を設定し、身に付けた力を活用する場面を増やしていく。 ・読むこと、書くことについて系統立てて指導を行っていく。
算数	○データの活用の領域の正答率が他の領域と比べて高いものが多い。 ●公式を利用して面積を求めたり、式を使って自分の考えを説明したりする問題の正答率が低い。	・自分の考えを図や文章で表現したり、ペアやグループで話し合ったりするなど、説明する場面を設定する。 ・復習プリントやミニテスト、毎月実施する「計算オリンピック」などを行い、基礎的・基本的な学力の定着を図る。

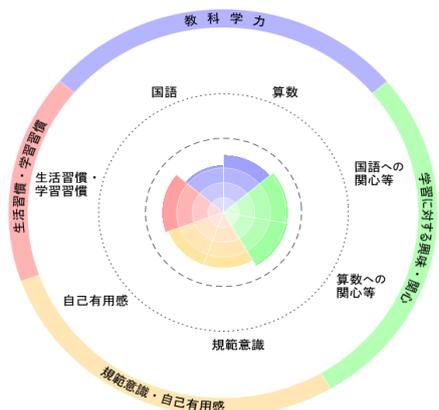
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
	○難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しようとしていたり、人の役に立つ人間になりたいと思っていたりする児童の割合が他の質問と比べて高い。 ●家庭でテレビゲームをする児童の割合がかなり高い。 ●家庭学習の習慣が定着していない傾向である。家庭で自分で計画的に学習している児童の割合が低く、家庭での学習時間がかなり短い。	・学校と家庭で協力し、学習習慣が定着していくよう努める。 ・生活習慣を見直すためのチャレンジ週間を設定し、メディアとの関わり改善へのきっかけとする。 ・学校だより、学級懇談会、学校運営協議会、PTAなどと連携した啓発の取組を行う。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・司書教諭や学校司書を中心に全校を挙げて学校図書館活用教育と読書指導の充実を図っていく。
- ・考える力、説明する力を支える基礎的・基本的な学力の定着に努めていく。
- ・児童一人一人に役割があったり、がんばりを認められたいりする取組を継続していき、自己有用感の育成に努めていく。

【受検者数】 78名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。